

## タイトル

お寺を地域の『プラットフォーム』に！  
～みんなをマッチングするステキな場所～

## 応募者

雨夜 真規子 さん（大阪府、学生）

## アイデアについて

### ① アイデアのタイトル

お寺を地域の『プラットフォーム』に！  
～みんなをマッチングするステキな場所～

### ② アイデアの概要（目的・方法・効果などを、200字以内でお書き下さい。）

#### 【目的】

お寺を地域の『プラットフォーム』に…地域住民の『できる』を『できない』住民とシェア

#### 【方法】

- ・地域住民たちの『私、こんなことができます』を持ち寄り、それを求める人（ニーズ）とマッチング

→子どもたちからお年寄りまで地域住民の交流を活発化

- ・お母さんたちのための簡易保育所づくり

#### 【効果】

- ・子どもたちの安全と健全な成長を地域みんなで見守る
- ・お年寄りたちの生きがい創出、孤立防止
- ・お母さんたちの孤立とイライラ防止

### ③アイデアの内容（できるだけ具体的にお願い致します。）

#### ■企画の目指すところ

お寺を地域の『プラットフォーム』として、地域の子どもからお年寄りまでが、それぞれの必要性（ニーズ）に応じてお寺を『活用する』『利用する』仕組み

#### ■企画の内容

都心から地方まで、お寺はあらゆる地域に確実に存在する。

そこでお寺を

①地域住民1人1人の「私、こんなことができます」を広くオープンにして

→②地域住民1人1人の「こんなことを助けてもらいたいな」「これを教えてほしいな」というニーズとマッチングする機会をつくり出し

→③地域住民同士の交流の場をつくり絆を強めることで、普段から誰も孤立しない、そして、災害や非常時にも助け合う、活気のある地域をつくるための場所にすべく、みんなで利用し、活用する。

①地域住民1人1人の「私、こんなことができます」を広くオープンにする

子どもからお年寄りまで、誰でも得意なことをもっている。その能力やスキルを『誰かを手伝って喜んでもらう』ために活用する。誰でも、人の役に立っている、喜んでもらえると実感できるのはうれしいことだし、生きがいを感じることである。

そこで、そのお寺がある地域の住民1人1人が、お寺という場所を借りて自分の力をPRする。

例えば、ある男性による「日曜大工が得意（好き）です」のPR

→ひとり暮らしのおばあちゃんの家が壊れたので、おばあちゃんは（自分では修理できないので）誰かに修理してもらいたい。そこで修理してくれる人はいないか、情報を得るためにお寺に行く。

→男性はおばあちゃんの家に行って棚を修理してあげる

※報酬については当事者たちの取り決めによる。

報酬が欲しければ提供者はその旨事前に宣言する。その提供者に依頼するかどうかは注文者次第。

#### ■想定される活用例（一部）

- ・お年寄りが子どもたちに昔遊びを教える（コマ、けん玉、百人一首等）

→家にこもってゲームでばかり遊ぶ子どもを減らす

- ・定年退職をしたおじさんが、塾に通えない子どもたちに勉強を教える

→元企業戦士の専門性や知識を有効活用。

能力を自負するおじさんたちの自尊心を充たし、塾に通えない子どもたちの可能性を高める

- ・子育てを終えたおばさんたちが交代で待機、様々な用事のために子どもを預けたいお母さんたちの子どもを一定時間預かる

→保育園でも『ファミサポ』でも『保育ママ』でもない、予約なしでも、急な用事でも対応してくれる簡易保育園のようなもの。お母さんたちの駆け込み寺になる。

おばさんたちは再び『子育て』を味わいたい。よその赤ちゃん、子どもの面倒をみたい。

- ・子育て経験者のおばさんたちが、子育て中のお母さんたちの話し相手になる。

→おばさんたちの存在価値。お母さんたちのイライラ・不安防止、ひいては虐待防止へ。

- ・地域のハローワークに代わる役割…地域の企業が求人広告を掲示

- ・子どもたちがみんなでおばさんたち手作りのおやつを食べる→会話のある楽しい食事現場の体験

以上